

## 23 ソーシャル界の“スティーブ・ジョブズ”ここにあり

### ～ITテクノロジーによる社会課題解決～

#### ○開催目的

民間が営利目的で開発した IT テクノロジーを応用し、社会課題を解決する取り組みが、進められています。

この分科会では、IT 活用のエキスパートが、参加者に事業アイデアのヒントを提供、その後グループで、事業を考えるワークショップを行いました。



#### ○開催日時

2月14日(日) 13:30 ~ 15:30

#### ○参加者数・出演者・団体

参加者数：24名（プログラム参加者19名、出演者2名、スタッフ3名）

##### 出演者・団体

今井 武さん

（株式会社アマネク・テレマティックデザイン  
代表取締役社長）

薄井 大地さん

（NPO 法人 e-Education 事務局長）



#### ○プログラム内容・成果と課題

##### 1 ITテクノロジーで社会課題を解決した人々の話

- ・事業紹介、発想法（社会課題の発見から、なぜこのアイデアに至ったのか）、リリース・運用・その後の展開に至る経緯等をお話しいただきました。
- ・今井 武さん

東日本大震災時、本田技研工業株式会社でインターナビを担当していた今井さんは、「通行情報実績マップ」や、津波に襲われる都市を再現したデジタルマップで、被災地の復興に大きく貢献しました。

そして、震災から19分後には、カーナビに向けて発信していた津波警報が、ユーザーには全く伝わっていなかった経験を踏まえ、ホンダ卒業後、アマネク・テレマティックデザインを創設。2016年3月、災害時にも情報が届く、日本

初のモビリティ専用のデジタルラジオ放送局「i-dio（アイディオ）」のサービスがスタートします。

・薄井 大地さん

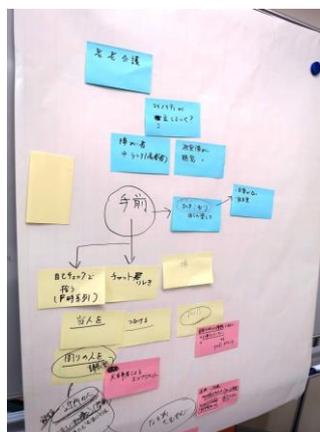
「最高の授業を世界の果てまで届ける」ことを目標に、貧しい子どもたちの夢を応援する映像教材を提供する NPO 法人 e-Education。1 人の大学生が、予備校のサテライト授業を応用し、バングラディッシュに DVD の授業を届けたことが、団体創設のきっかけとなりました。

社会課題に気付く人は少なくない一方で、その解決に向け、事業を立ち上げ、行動できる人は少ないことを指摘。「若者(だけでない)」「よそ者(だけでない)」「バカ者(で終わらせない)」による取り組みが、組織の実績と事業の拡大につながっています。

## 2 グループに分かれ、IT テクノロジーを応用した事業を考える

- ・4グループから、現代社会の課題を切り取る提案がありました。

「縁」「インターネット新聞」「場づくり」、そして最も評価の高かったのは、「引きこもりの若者たちへのアプローチ」でした。



### ○参加者の声

- ・講師お二人の話が大変面白かった。社会的意味のある取り組みに感動しました。
- ・映像などもとても面白く、映像という視点から教育や震災等について考える事ができて、とても面白かったです。どうもありがとうございました。
- ・ITに限らず、課題解決についてよいヒントをもらえました。年齢性別職業全く違う人とのグループワークが新鮮で楽しかったです。

### ○担当者・記録

《担当》	中野 宏美 (NPO 法人しあわせなみだ)
	枝見 太朗 (財団法人富士福祉事業団)
《運営サポート》	市川 徹 (沿線ボラセン交流会)
《記録》	中野 宏美 (NPO 法人しあわせなみだ)